

2025年度 業績優秀者返還免除申請書

西暦 2026年 2月 1日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

作成日・提出日等

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。
・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に関するアンケートや調査に協力することに同意します。
・(2023年度以降に博士(後期)課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生として採用された者のみ)国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロウシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」又は「国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業(BOOST)次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」の支援を受けた場合は、免除が取り消されることを承知しています。

フリガナ ホクダイ タロウ
氏名 北大 太郎

大学院名 北海道大学大学院
課程 修士(博士前期)課程
研究科名・専攻名 工学院△△△△専攻
学籍番号 \*\*\*\*\*
奨学生番号 6\*\*06\*\* \*\* \*\*
生年月日 西暦 2001年 〇月 △日

上記で選択した課程において、内定者として認定されている。 ※該当する場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題等

概要 大学院における研究課題等について、具体的に記入してください。

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
(「機構に提出」欄は学校の事務取扱担当者が使用します。)
(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

Table with 4 columns: 業績の種類, 資料番号, 機構に提出, and a large text area for details. Includes categories like 学位論文, 研究論文, 学会での発表, and 日本学術振興会特別研究員の採用.

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類		資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果		
	※修士課程の学生のみ対象 ※修士論文(概要のみを含む)を提出した場合も該当しません。		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果		
	※修士課程の学生のみ対象 ※修士課程においても、本学では該当しません。		
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	(4)B	
	①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③発行年 ※資料は申請者が執筆、作成した文章・データの要約、現物ではなくコピーや写真等、評価されたことがわかる資料(本人氏名が確認できるもの)、著書の表紙と奥付及び申請者が執筆した本文のページ、データ集及びデータ集が掲載されているサイトの画面など ※専攻分野に関連したものに限ります。		
5	(専攻分野に関連した)発明	(5)A	
	①申請者名<発明(考案)者名> ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 ※資料は出願中の場合は特許願、登録済の場合は特許証(申請者本人の氏名が確認できること)		
6	(専攻分野に関連した)授業科目の成績	(6)B	
	※学内成績については、事務(工学系事務部教務課)で必要書類を作成し、記載しますので、空欄のままでも構いません。成績証明書等も提出不要です。 ※専攻分野における外部試験への合格がある場合は、記入してください。 ①申請者名 ②試験名 ③年度 ※資料は外部試験に合格したことが分かるもの		
7	(専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	(7)A① (7)A②	
	1. ①申請者名 ②RA ③年 2. ①申請者名 ②TA ③年 ※記入の際は、RA、TA、TF等の別を明記すること。 ※同様の業務内容を複数期間に行っている場合でも、一期間分しか評価できません。証明となる資料は当該期間分のみを提出してください。 ※資料は「発令及び労働条件通知書」のコピー、「科学研究費補助金等による研究活動への貢献がある」については、指導教員の署名がある証明書類(様式任意)の添付が必要 ※リサーチ・アシスタント、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー、科学研究費等による研究活動への貢献に係る業務については、雇用期間や従事内容毎ではなく、該当業績の評価項目毎に証明書類を1件のみ提出してください。評価項目内に業務内容が複数ある場合は、最長雇用期間の業務を1件のみ申請書に記載して、証明書類も1件のみ提出してください。申請書への複数の記載および複数の証明書類は不要です。		
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	(8)B	
	①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績 ※資料は発表会のプログラム及び表彰状 ※専攻分野に関連したものに限ります。		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	(9)B	
	①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績 ※資料は競技会のプログラム及び表彰状 ※専攻分野に関連したものに限ります。		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	(10)A または (10)B	
	①申請者名 ②イベント等の名称 ③年 ※資料はイベントのプログラム及び参加を依頼されたことが分かるメール文面、主催者等申請者以外の第三者が証明または評価した書類など(申請者本人の氏名が確認できること) ※専攻分野に関連したものに限ります。		